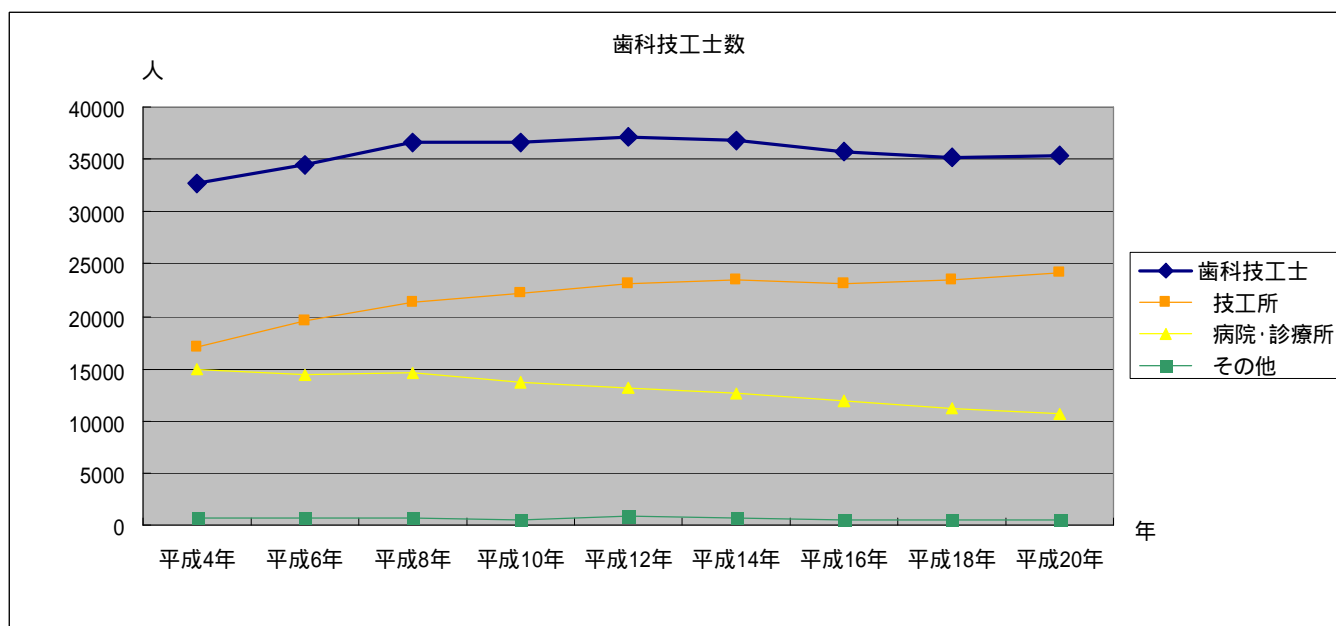


平成20年保健・衛生行政業務報告が公表されました。<http://www.mhlw.go.jp/za/0722/a06/a06.html>

就業歯科技工士数の推移は次のようになっています。

	平成4年	平成6年	平成8年	平成10年	平成12年	平成14年	平成16年	平成18年	平成20年
<b>歯科技工士</b>	<b>32629</b>	<b>34543</b>	<b>36652</b>	<b>36569</b>	<b>37244</b>	<b>36765</b>	<b>35668</b>	<b>35147</b>	<b>35337</b>
技工所	16987	19487	21377	22309	23194	23552	23065	23438	24142
病院・診療所	14907	14402	14492	13667	13097	12534	11998	11140	10694
その他	735	654	783	593	953	679	605	569	501



ここ数年は就業歯科技工士の数は減少していましたが、平成20年度には190名増加しています。

日本歯科技工士会の調査によると国家試験の合格者数は

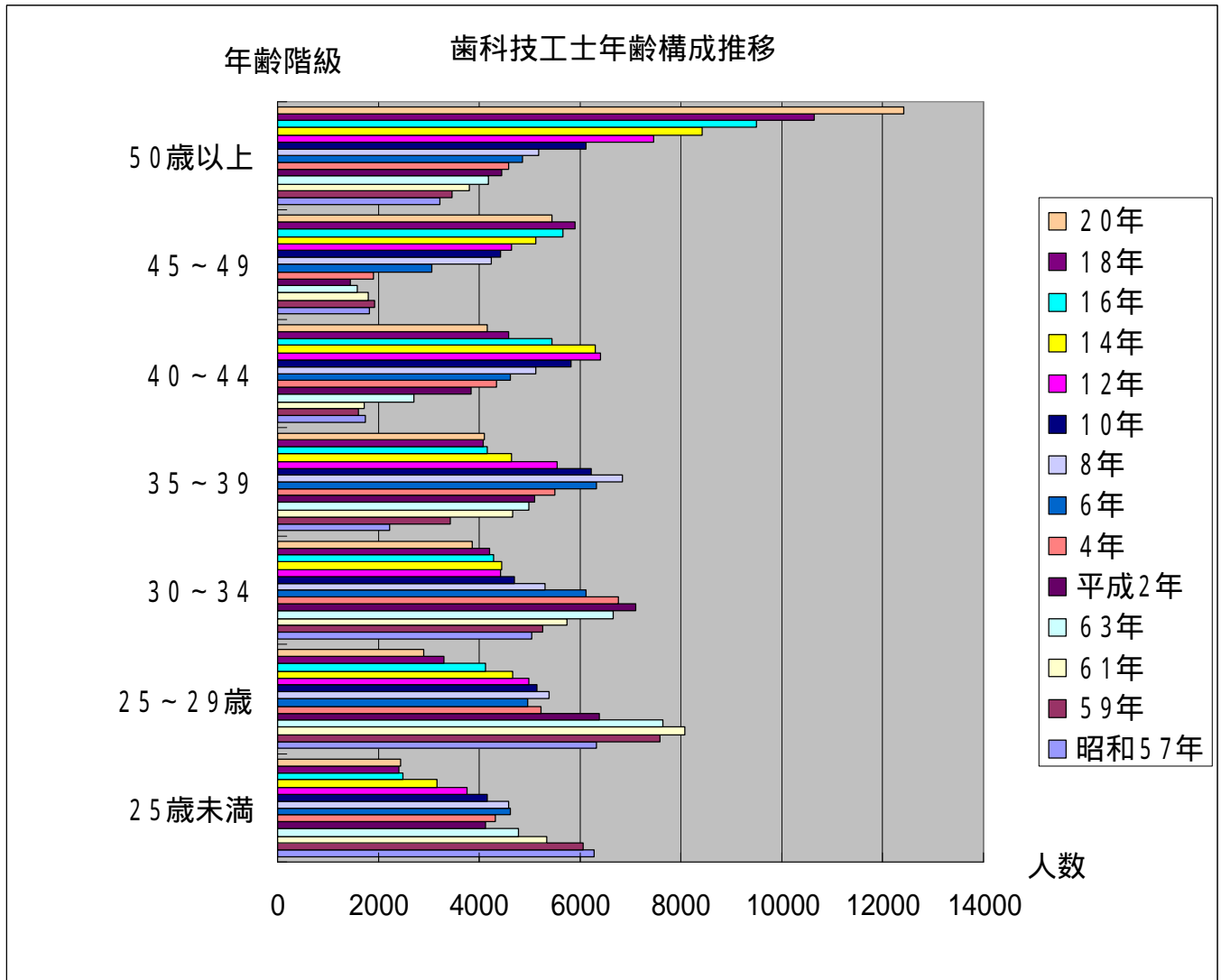
H11度調査	H13度調査	H15度調査	H17度調査
2,581	2,509	2,384	2,249

となっており、毎年2200から2500名程度国家試験に合格しています。

ところが、歯科技工士の数があまり増えていないということは、引退される方、離職される方が、相当数居られるということになります。

次に歯科技工士の年齢構成を見てください。

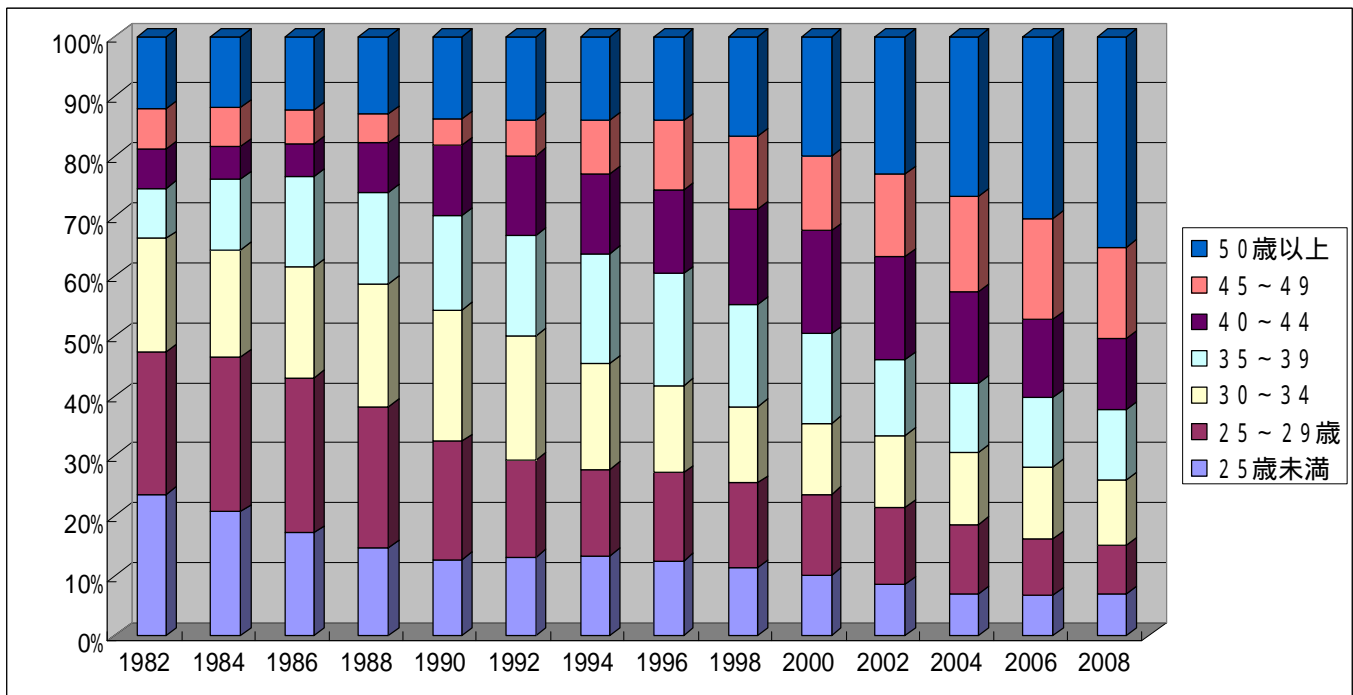
	1982	1984	1986	1988	1990	1992	1994	1996	1998	2000	2002	2004	2006	2008
25歳未満	6281	6065	5344	4771	4140	4315	4615	4581	4150	3760	3170	2493	2417	2450
25～29歳	6341	7599	8075	7645	6387	5218	4961	5383	5160	4998	4676	4125	3291	2907
30～34	5037	5254	5746	6663	7108	6761	6114	5312	4681	4424	4446	4285	4206	3860
35～39	2223	3428	4680	4986	5084	5504	6317	6845	6235	5561	4636	4153	4076	4103
40～44	1743	1601	1711	2703	3827	4353	4623	5122	5807	6421	6315	5453	4599	4164
45～49	1824	1929	1786	1572	1445	1903	3066	4239	4432	4628	5111	5663	5907	5442
50歳以上	3209	3463	3797	4178	4442	4575	4847	5170	6104	7452	8411	9496	10651	12411
総数	26658	29339	31139	32518	32433	32629	34543	36652	36569	37244	36765	35668	35147	35337



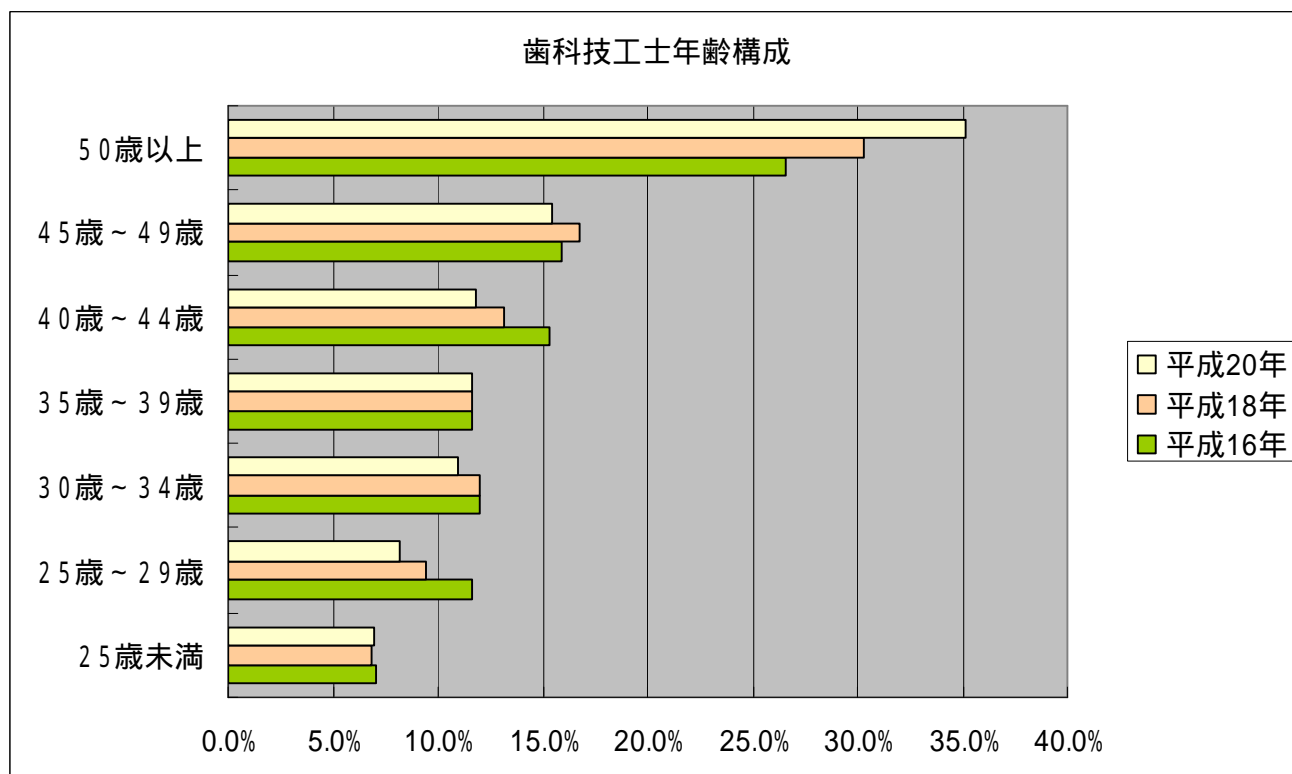
歯科技工士の高齢化がますます進んでいることがわかります。

(ただし、50歳以上の区分以外は5歳ごとに区切っていますが、50歳以上の年齢区分は幅が広いことに留意が必要です。)

構成割合で見えます。

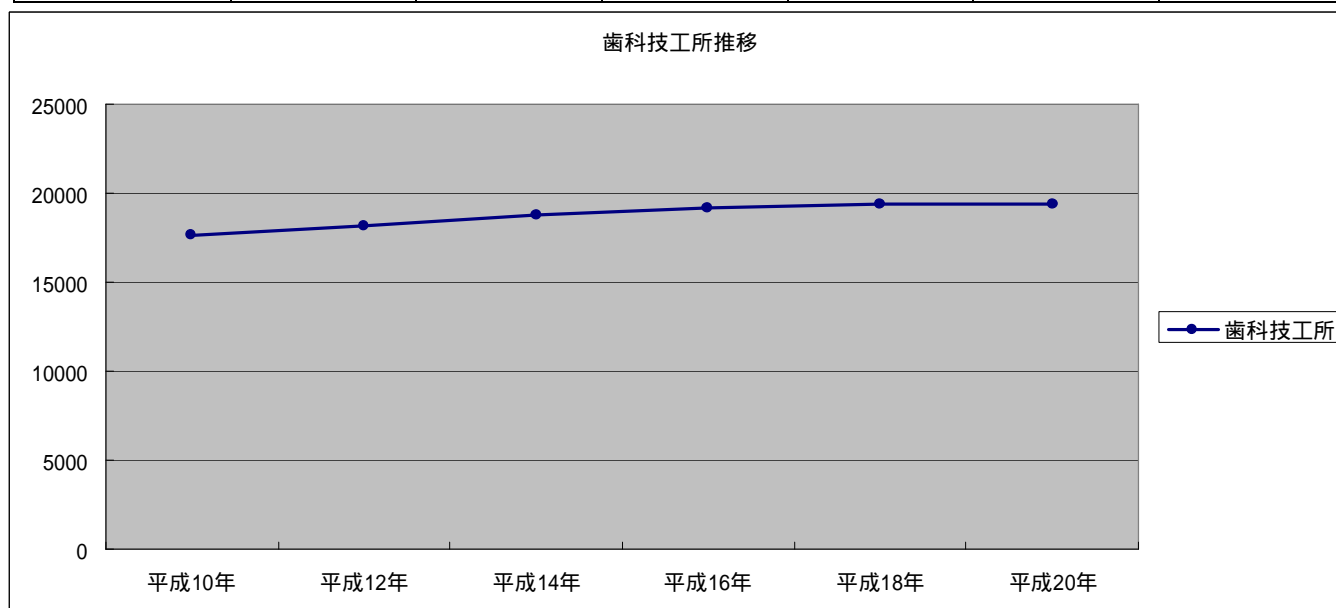


1996 年ごろから高齢化が顕著になっており、この傾向は年を追うことに強くなってきています。  
平成 16 年以降の分を再掲します。



次に歯科技工所の数の推移を見えます。

	平成 10 年	平成 12 年	平成 14 年	平成 16 年	平成 18 年	平成 20 年
<b>歯科技工所</b>	<b>17648</b>	<b>18199</b>	<b>18772</b>	<b>19233</b>	<b>19435</b>	<b>19369</b>



歯科技工所の数は増加傾向にあります。